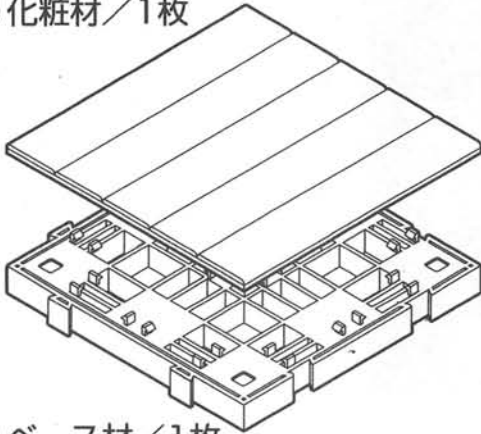


デッキ材のセット内容

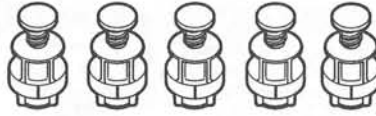
下記の部材・部品が揃っているか確認してください。

次の道具を用意してください

① 化粧材 / 1枚



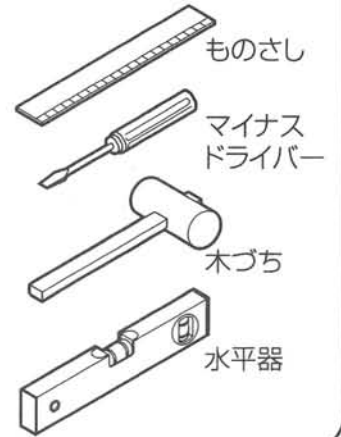
③ 支持脚 / 5個 (別売)



④ 支持脚用キャップ / 5個



⑤ 支持脚同数梱包 (緩み止めビス)

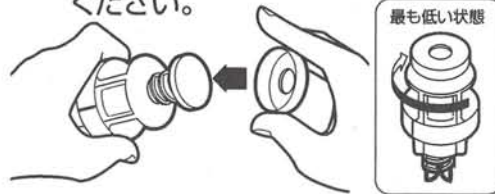


② ベース材 / 1枚

ベース材の組立て方

- ベース材を裏面にします。
- 道具は使用しません。

① 支持脚にキャップを取付け、ねじを回して高さが最も低い状態にしてください。

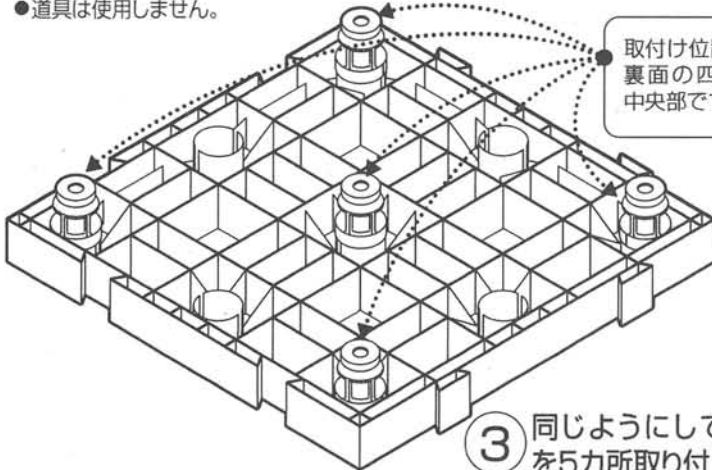


取付け位置は、裏面の四隅と中央部です。

② ベース材の裏面の穴に支持脚を取付けます。



③ 同じようにして支持脚を5カ所取り付けます。



ベース材を敷く前に...

- 支持脚が確実に取付いているか、もう一度よく押し込んで確認してください。

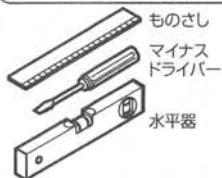


- デッキ材の水平出しを確実にするため、バルコニー床面のゴミ等は必ず取除いてください。



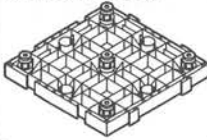
デッキ材の 高さ調整の しかた

用意する道具

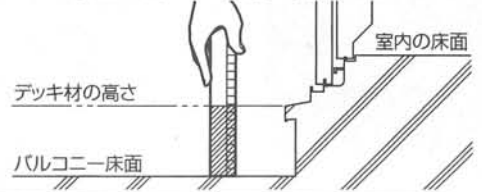


ベース材の状態

裏面にしてください

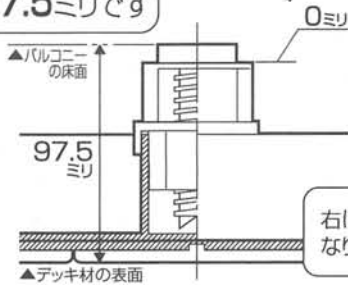


① ものさしで、サッシの下枠とバルコニー床面との段差を測りデッキ材の高さを決めます。

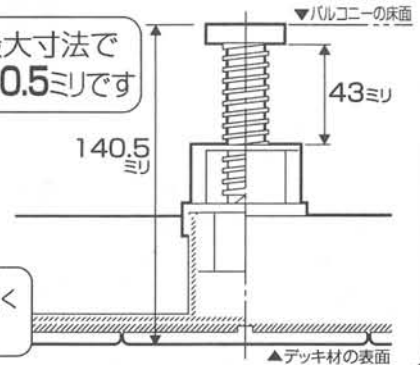


② 支持脚の高さ調整範囲を覚えてください。

最小寸法で
97.5ミリです



最大寸法で
140.5ミリです



右に回すと低くなります。

左に回すと高くなります。

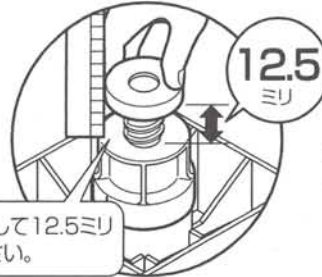
③ 例えばデッキ材の高さを110ミリにしたい場合

●調整寸法の出し方

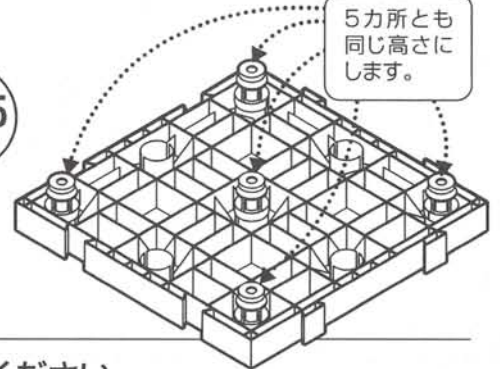


つまり、110ミリにしたい場合は12.5ミリ出せばいいわけです。

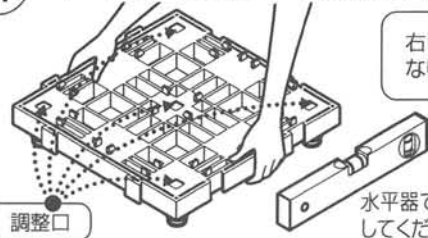
支持脚を回して12.5ミリ出してください。



5カ所とも
同じ高さに
します。



④ ベース材を表にして表面の調整口より微調整してください。



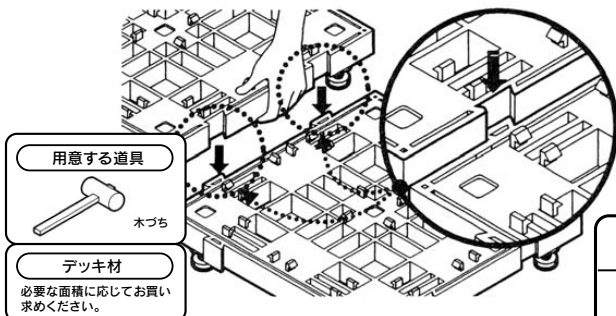
右に回すと高くなります。

左に回すと低くなります。



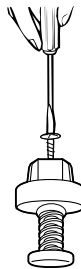
デッキ材の組合せ方

① ベース材のジョイント部分の凸部と凹部を合わせて連結します。
(ジョイントはきつめに設定されています。)



② 支持脚ゆるみ止め

床レベル調整後ゆるみ止めのためのビスを、支持脚からプラスドライバーでビス止め



③ 全体的にガタつきがないように高さを調整した後、化粧板をベース板に取付け、あて板をして木づちでたたいてはめ込みます。



デッキ材が水平でなかったり、ガタついてたら...

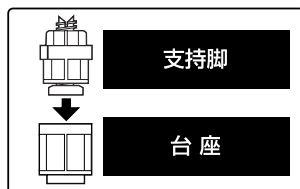
- 支持脚の高さ調整を再度行ってください。
- 適切な部分に支持脚が取付けてあるか確認してください。
- 支持脚をベース材にしっかりとめ込んでください。
- 化粧材とベース材をしっかりとめ込んでください。

デッキ材の寸法

デッキ材の高さに合わせて支持脚を選びます。

140.5ミリ以上の高さが必要な場合は台座を取付けます。

デッキ材高さ	支持脚
77.5ミリ } 95.5ミリ	支持脚S
95.5ミリ } 140.5ミリ	支持脚L



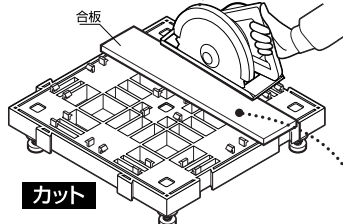
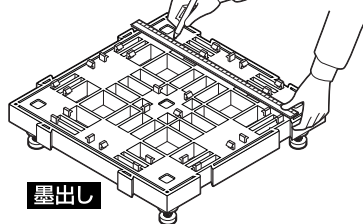
137ミリ~180ミリ	178ミリ~221ミリ	219ミリ~262ミリ
支持脚+台座1個 	支持脚+台座2個 	支持脚+台座3個

ベース材の切断が必要な場合

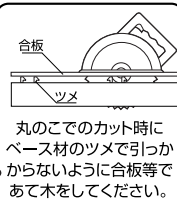
ご注意 カット部に支持脚がある場合は取外しておいてください。

① 墨出しをします。
(図面をよくご確認ください。)

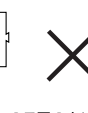
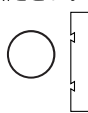
② 丸のこでベース材をカットします。
(合板をあて木に使用してください。)



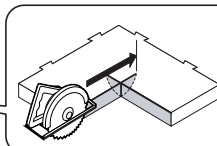
丸のこの刃はなるべく大きいものをご使用ください。



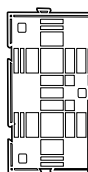
以下のようなカットの場合はカット部の切込みがはみ出さないように、のこぎりにて仕上げてください。



のこ刃のキリ



このようなカットは強度不足になります。



カット部のところまで表面が切れた所で丸のこを止めます。

STOP

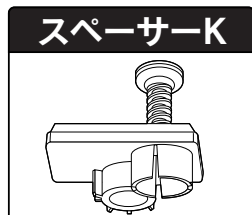
下部の切れてない所はのこぎりで切ります。

オプション

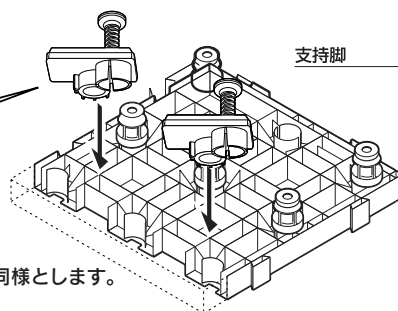
支持脚の追加で剛性がとれる場合

下図を参考にして剛性のとれる位置に追加してください。

ベース材をカットした場合、支持脚を通常の5ヶ所以外に追加してください。



スペーサーK



支持脚差込口

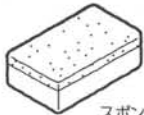
支持脚

カット部

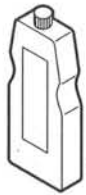
スペーサーKにもS、Lがあり、高さ調整については支持脚同様とします。また、台座についても加えていくことが可能です。

デッキ材のメンテナンス

用意する道具



スポンジ



中性洗剤



木づち

I. デッキ材の手入れについて

- 水でぬらした雑巾か、柔らかいスポンジで拭いてください。



中性洗剤を水で薄めた液を使用すると、よりきれいに汚れを落とすことができます。この場合、洗剤が残らないように真水で洗ってください。

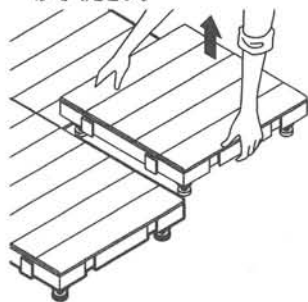
注意

- a. 著しい汚れを落とす場合も、金属製ブラシや研磨剤入りの洗剤は絶対に使用しないでください。
- b. 洗剤の使用後は十分な水洗いを行ってください。
- c. 下表に示す薬品は絶対に使用しないでください。

使用不可の薬品	
無機薬品	発煙硝酸、発煙硫酸、クロルスルホン酸、臭素水
有機薬品	エチレンクロライド、クロロホルム、トリクロルエチレン、テトラリン、キシレン、四塩化炭素、ガソリン

II. デッキ材の剥がし方について

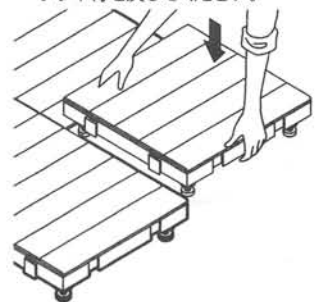
- ① デッキ材を引き抜くように、持ち上げてください。



- ② ホース等で水を流して、バルコニー床面の汚れを洗い流してください。



- ③ 汚れが落ちたら、いまと逆の手順でデッキ材を戻してください。



注意

- a. デッキ材を敷き直す前に、支持脚、キャップが緩んでいないか確認してください。
- b. デッキ材を復帰する際は、必ずジョイント部にて連結してください。
- c. デッキ材表面が平滑な状態か確認してください。

注意

使用上のご注意

- デッキ材から手すりの高さを1,100mm以上にしてください。(法規・各基準により定められています。)
- 小さな部品がありますので、誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、小さなお子様には絶対に与えないでください。
- 施工前に、必ずバルコニー床面を掃除してから、本商品を施工してください。
- 可燃材料ですから火気を近づけないでください。
- マンション等の階下への避難口、ハッチなどの上には絶対に置かないでください。
- 本商品を移動する場合も、階下への避難口、ハッチなどの上には絶対に置かないでください。
- 屋上階、立ち上がりのないバルコニー(立ち上がり30cm以下)など、風の影響を受けやすい場所では、本商品がめくれる恐れがありますので、めくれ防止対策を施してください。(重しをのせるなど)
- シート防水などの防水層が露出している場所は、1.5mm以上厚の防水シートを使用してください。防水層を傷つけ、水漏れの原因となります。
- 夏期の高温のもとでは、商品表面が熱くなり、火傷する恐れがあります。また、直接歩行するとストッキング等が破れる場合がありますので、履き物を着用してください。
- 本商品に使用上危険な不具合(割れ、カケ等)が発生したり、外れた場合は、足を切るなどのケガをする可能性がありますので、すぐに取替えてください。
- 雨等で商品表面が濡れている場合、ゴミ・ほこり等で商品表面が汚れている場合、また、冬期における雪・凍結により商品が滑りやすくなりますので使用前には清掃してください。
- 落としたり投げたりしないでください。